

見る人の心を掴む
デザイン門柱のあるエクステリア

プライベートな スペースを確保した 目隠しエクステリア

Style I2

兵庫県W邸

施工面積	約20坪
施工期間	約40日
設計・施工	エクステリアデザイン神戸 (P.128)
プランナー	堀川 敦生さん (P.124)

※使用商材

カーポート=三協アルミ「Uスタイルアゼスト梁置きタイプ」、フェンス・フレーム・門扉=LIXIL「フェンスAB」「プラスG パーゴラフレーム」「デザイナーズパーツ ウォールスクリーンファンクション」

新築外構のご依頼です。道路に面して玄関ドアとリビング窓が配置されているので、プライベートな空間を確保したい、ということでした。

玄関前には目隠し機能のあるウォールスクリーンを配置。ポストや表札をつけて門柱としました。木目調の素材を使用して、ナチュラルな中にも白の建物に映えるデザインにしています。

リビングに面したタイルテラスの前にはフェンスを一字に設置。「外からは見えないようにしたいけれど、風を感じられるテラスが良い」というご要望に合わせて、天井部はパーゴラフレームをご提案しました。素材は門柱に合わせ木目調でまとめています。

カーポートは間口10mを超える、最大幅ものをセレクト。駐車スペースから玄関前までできる限り建物に沿うように設置し、オープンでありながらも守られた空間を演出しています。

目隠しとカーポートで、プライバシーをしっかりと確保した安心安全なエクステリアが完成しました。

パース

作成=エクステリアデザイン神戸



①施工前。②③エクステリア全景。敷地いっぱいまで間口を広げたカーポートが、オープン外構ですが守られた空間を作っています。



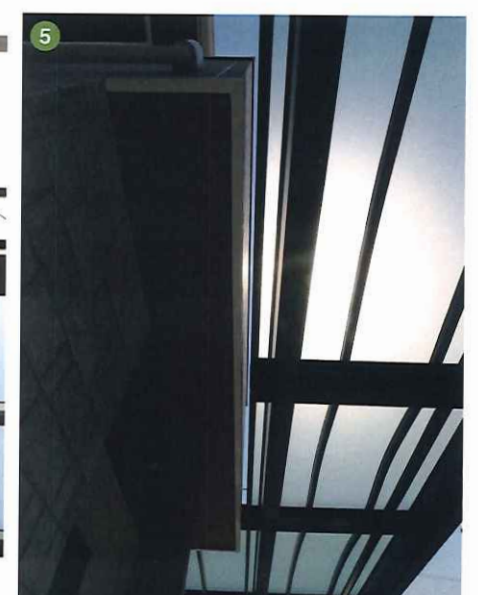


①玄関前に設置したウォールスクリーン。目隠しとともに門柱としての機能も備えています。②アプローチは自然石乱貼りで高級感を演出。③カーポートの奥にはテラス前の目隠しフェンス。さらにフレームを組み合わせ、天井にはポリカーボネート材の屋根を設置。雨の日でもテラスで過ごすことができます。④向かって左側から見たエクステリア。どの角度から見ても、しっかり目隠しされています。



超巨大なカーポートが迫力満点のエクステリアをつくる

⑤⑥カーポートの屋根は玄関の軒下までしっかりおおっているため、雨の日でも傘をささずに車から建物に入れます。





Style

32

建物とのミスマッチを解消した リフォームガーデン&エクステリア

芝生でくつろぐ魅惑のガーデン



①～④全景。ガーデンをフェンスで囲うことで前面道路からの視線流入を完全に防いでいます。既存の擁壁部分も白に塗り替えたことで、すっきりとした印象の建物との統一感もばっちり。⑤～⑧施工前。目隠しを兼ねた擁壁は建物とミスマッチな暗い色でした。また、高さのある擁壁が目隠しも兼ねていたため、全体的に圧迫感を与えていました。

戸建て住宅を購入したHさん。手をつけていないお庭部分の依頼はもちろん、既存の擁壁や門柱、ステップ等も建物のイメージとミスマッチで気になっていたため、そこも含めたプランをご希望でした。

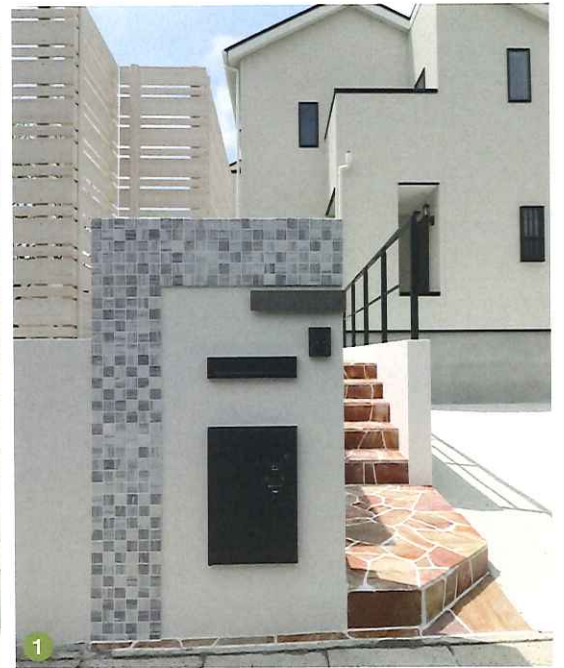
施工前は暗い色で塗られていた、お庭部分の囲いを兼ねた擁壁。上部は撤去して、オフホワイトのフェンスを新たに設置しました。壁と同程度の目隠し効果を発揮しながらも、圧迫感は大幅に低減。残った擁壁下部も白に塗り直したことで、建物とマッチするようになりまし。門柱と、お庭へ続くステップもそれに合わせて一新。手付かずだったお庭部分は、全面を一年中鮮やかな緑が楽しめる人工芝で舗装。掃き出し窓前にはウッドデッキを造作しました。

すっきりとしたイメージの建物とマッチした明るいエクステリアへのリフォームと、人工芝が気持ちいくなるのプライベートルームの創出を両立したプランになりました。

兵庫県H邸

施工面積	約30坪
施工期間	約40日
設計・施工	エクステリアデザイン神戸 (P.128)
プランナー	堀川 敦生さん (P.124)

※使用商材
ウッドデッキ=LIXIL「樹ら楽ステージ」、目隠しフェンス=F&F「マイティウッドフェンス」、ステップ=LIXIL「ベスパクォーツサイト」



④⑤ステップには天然石乱貼りを使用しています。⑥～⑧掃き出し窓の高さに施工したウッドデッキが、室内と人工芝のガーデンをつなぐ導線に。⑨ガーデン全景。一面に人工芝を施工しています。プライバシー確保のための囲いを、壁からフェンスにリフォームしたことで、圧迫感を大幅に低減しました。

①擁壁から続くように一新した門柱。タイルがアクセントになっています。②③ガーデン内の植栽スペースにはオリーブやユーカリポボラス。



ステップの先に広がるプライベートガーデン

ワンちゃんが喜ぶリフォーム



飼い主にとって、ワンちゃんは大切な家族の一員。人間以上に「外で遊びたい」という思いが強いはずのワンちゃんが、思い切り走り回って遊べるスペースを実現したリフォーム例を紹介します。

担当=浜口健太/ページデザイン=和田充美



①Y邸のワンちゃん。②～⑤前面道路よりもはるかに高いところにあるフロアスペースは、空が近くて開放感も桁違い。日当たりも風の通りもよい、癒しの空間です。

ワンちゃんとお孫さんのためにつくった広々スペース



ワンちゃんが喜びリフォーム

有効活用できるスペースを空中に創出 「グランフロア」を使った驚きリフォーム



以前もご依頼をいただいたYさんからのリピート依頼。前回は、ワンちゃんの憩いのスペースとして、掃き出し窓前にウッドデッキを施工しました。今回のご要望は、お孫さんたちを遊ばせてあげるための、より広いスペースが欲しいとのことでした。

Y邸は元々少し高い位置に建てられており、前回造作したウッドデッキと前面道路や駐車場との間にも高低差がありました。そこで、既存のカーポートを思い切って撤去して、ウッドデッキからつながるように、三協アルミ「グランフロア」を設置して、カーポートとウッドデッキを兼ねるプランを提案。駐車場と同じだけの面積を持った、広大な空間を創出しました。

予想もしなかったアイデアで、活用できる空間が新たに増えたプランにYさんもお孫さんも、そしてワンちゃんも大満足。空にも近く、開放感にあふれた「グランフロア」を存分に満喫されています。

兵庫県Y邸

施工面積	約8坪
施工期間	約5日
設計・施工	エクステリアデザイン神戸 (P.128)
プランナー	堀川 敦生さん (P.124)

※使用商材

デッキ・カーポート=三協アルミ「グランフロア」、ステップ=三協アルミ「ひとと木」



- ①フロアスペースへは、以前の工事で施工したウッドデッキから続くステップで向かいます。ステップには三協アルミの「ひとと木」を使用。
- ②「グランフロア」の柱は、門柱の後ろ側に来るように設計。アプローチの往来を妨げないよう、そして柱が目立ちすぎないよう工夫しています。
- ③「グランフロア」の柱は、門柱の後ろ側に来るように設計。アプローチの往来を妨げないよう、そして柱が目立ちすぎないよう工夫しています。
- ④～⑥施工前。前回工事で、ワンちゃんの憩いのスペースとしてウッドデッキを造作していました。
- ⑦ファサード。既存のカーポート屋根に代わって、「グランフロア」が愛車を雨から守ります。

